

心のアンテナ

「最近食べなくなったんですよ」

ある日、Aさん(79)の奥様が相談に来られました。3カ月前に胆のうに腫瘍が見つかりB病院で手術したばかりでした。その際、異常な細胞が見つかったのですが悪性ではないと言われ安心していまし

したり、元気に振る舞っていました。しかし突然話が途絶えたり、自分のいる場所が分からなくなったりと、やっぱり普通ではありません。ご家族は認知症ではないかといぶかりました。元々脳梗塞で軽い左半身まひがあったので早速、頭の検査をしました。するとゴルフボールほどの腫瘍が2個、他にも小さなものが



ホスピスから

<105>

下松市・阿部クリニック院長 阿部政則

た。しかし奥様は「先週受診した時の検査では異常は無いと言われました。でも何かおかしい、元気が無い」と言うのです。

たくさん見つかりました。

そこで当院に入院し経過を診ることにしました。入院後は「寝てばかりいては足がダメになる」と積極的に廊下を歩いたり、ホスピスのホールで、ご家族やご友人とお話し

手術適応や治療法を選択を考慮し転院しましたが、1カ月後、奥様が合併症の肺炎で逝かれたとあいさつにいらっしやいました。胆のう腫瘍が脳へ転移することは極めてまれです。ご家族しか分からないう心のアンテナが、とても大切だと改めて考えさせられました。

平成30年6月25日 毎日新聞より